



日野学園だより

No. 212

品川区立日野学園

校長 守屋 直孝

ホームページ URL <https://hinogaku.shinagawa.andteacher.jp/>

E-mail hinogakuen@city.shinagawa.tokyo.jp

令和 7 年 5 月 2 日



日野学の木をみんなで育てよう

校長 守屋 直孝

桜色に染まってスタートした日野学園の周囲も、今はサツキやツツジ、ハナミズキなどの色に移り変わり、草葉の緑も日に日に濃くなってきました。新しい環境に慣れ始めた子供たちもそれと同じように、学習や活動に生き生きと取り組む姿が多く見受けられ、うれしく思う毎日です。保護者の皆様におかれましても、年度初めの保護者会や面談などにご協力いただき、ありがとうございました。「ウェルビーイング スクール 日野学園（ひのがく）」のもと、充実した教育活動を展開していきますので、引き続きよろしくお願いたします。

さて、本校が目指す「ウェルビーイング」とは何か。WHO（世界保健機関）では、ウェルビーイングという言葉は「心身だけでなく、社会的側面も含めて満たされたよい状態」と定義付けています。これを学校という視点から「子供一人一人の健康と主体性の保障」と置き換え、本校の学校経営方針に『自立』を挙げ、その第一歩として「自分を大切にする子」、「自分に自信がもてる子」の育成を目指すとなりました。

そのためには、子供自身が自分のこと（個性）を理解し、高い自己肯定感をもちつこと（大人の視点では、もたせること）が必要です。心理カウンセラーの中島輝さんは自己肯定感を「生きるための基本になる力」「笑顔の源になる感覚」と考えていて、この中身を少し細かく分析すると右図のように6つに分けられ、「人」という木を支えていると言っています。

子供は学年を追うごとに体や心、考える力も成長し、できることが増えていく

と同時に、自分の力を信じる気もちも自然と高まることが多くなります。しかしその一方で、周囲の人から「できない」「無理」などの言葉を浴びせ続けられたり、できる人と比べ過ぎたりすると、その木は育たなくなることもあるそうです。とかく人間は、人のウィークポイントに目が行き、それを指摘したりその改善に努めようとしがちですが、人を大きく育てるには逆効果なようです。明るい前向きな言葉を掛けていくようにしましょう。中島さんは自己肯定感を高める方法の一つとして、鏡の前で笑顔をつくり、「いいね！」ポーズやガッツポーズをしながら、自分に「大丈夫」「がんばっているね」と声を掛けていくことをおすすめしています。ぜひ、実践してみてください。

自己肯定感



【葉】自己信頼感(自分を信じられる)

【花】自己決定感(自分で決められる)

【実】自己有用感(自分は人の役に立てる)

【枝】自己効力感(自分にできると思える)

【幹】自己受容感(ありのままの自分を認める)

【根】自尊感情(自分には価値がある)

『何があっても「大丈夫。」と思える子に育つ 子供の自己肯定感の教科書』
(中島輝著/SBクリエイティブ)を参考に作図

ああ この熱い身体をかける血潮 風になったみたい 飛び跳ねていく
感じているよ 歌いながら 歩き出すのさ 光とともに

(STUTS 『99 Steps (feat. Kohjiya, Hana Hope)』より)

最近よく見かける大塚製薬「ポカリスエット」のCMにある、「君はきっと、誰かの太陽」というフレーズに共感を覚えます。日野学園の子供たちも、自分のよいところを自覚し、自分を好きになり、自分に自信をもって明るく前向きに生活してほしいと願っています。そして、それがやがて、誰かの背中を後押しできる太陽的存在になってくれるものと信じています。

あなたの長所、自信をもっていることは何ですか？

風薫る5月。子供と教職員が爽やかな笑顔で過ごせるよう、温かい応援をよろしくお願いたします。

学年が目指す学力と生活力 ～学年主任より～

	学力の育成	生活力の育成
一年生	<p>【自分で考え表現する】 ○「読み」「書き」「話す」経験を重ね、様々な表現方法を知り、力を伸ばします。 ○基礎的な内容を繰り返し練習し学力の定着を図り、基礎的な力と学習ルールを身に付けます。 ○スモールステップで目標を立てたり自己選択の場面を設定したりして、最後までやり抜く力を伸ばします。</p>	<p>【自分も相手も大切に作る】 ○自分の気持ちを相手に言葉で伝えられるように、生活の中で困ったことや嬉しかったこと等を周りの大人や友達に伝える活動を繰り返し練習します。 ○人や場に応じた挨拶、言葉遣いをみんなで考えたり、良い例を掲示したりしながら、みんなが気持ちよく過ごせるような姿勢を育みます。</p>
二年生	<p>【自分の思いや考えを伝える】 ○思いや考えを表現するための様々な言葉を学び、進んで話したり書いたりしようとする姿勢を育みます。 ○思いや考えを友達と伝え合い、交流する機会を多く設けます。聞くときは友達の話や言葉に耳を傾け、相手の思いや考えを理解し、よさに気付く力を伸ばします。</p>	<p>【思いやりをもって気持ちよく関わり合う】 ○相手の気持ちや受け止め方を想像して、言葉遣いや行動、接し方を考えるよう日常的に声掛けをします。また、みんなで楽しめるように遊び方を工夫する姿勢を応援します。 ○みんなが気持ちよく、穏やかに生活するために、ルールやマナーを守り、係や当番活動を協力して行うよう支援します。</p>
三年生	<p>【考えを広げ、考えを深める】 ○交流の場を多く設けて違う考えや感じ方に気付かせます。別の考え方を問いかけて思考の幅を広げます。 ○話をよく聞くことを促します。先生や友達の話をきっかけに考えることで、自分の考えを深め、自ら学ぶ心を伸ばします。</p>	<p>【前向きに笑顔で取り組む】 ○3年生は興味・関心が広がり、友達関係が広がる時期です。可能性の芽を摘まないように「上手だね」「すごいよ」と声を掛けて前向きに取り組む姿勢を育みます。 【あいさつを大切に作る】 ○あたたかい一言を添える会話を習慣付け、コミュニケーション力を高めます。</p>
四年生	<p>【しっかりと聞き、自ら学び表現する子】 ○話をよく聞き、助言に素直に耳を傾け、友達のよい考えや望ましい行動から学び、自分を高めていく一年にしていきます。 ○友達の意見や考えについて自分とはどこが違うのか、どう思うのか考えを深め、伝え合う力を高め、学び合いを深めます。</p>	<p>【仲間と共に喜び、努力し伸びようとする子】 ○学年目標は「押忍！七転八起」。努力を惜しまず仲間とともに楽しむ学年にします。 ○ブロックリーダーとしての自覚をもち、切磋琢磨できるようにします。下級生をまとめるだけでなく、学習態度、休み時間の過ごし方、廊下の歩き方等、日常生活においても4年生の姿が手本となります。</p>
五年生	<p>【自学自習の意識の確立】 ○教科担任制での授業が始まります。担当教員が興味関心を高める学習活動を展開するとともに、定期考査の開始を意識した、自主学習への意識の向上を目指します。そのために、家庭学習や試験勉強等の計画的な実施。各教科での課題や活動へ粘り強く取り組む姿勢を伸ばしていきます。</p>	<p>【Respect し合える子の育成】 ○子供同士、子供と大人、Respect の気持ちをもてる子供の育成を目指します。そのために、「5つのこう動（考動、光動、高動、幸動、交動）」が自分からできること。そして、「共創」を意識して新しく始まる生活や行事に挑戦していくことを大切に、5-9の一員としての自覚を育んでいきます。</p>
六年生	<p>【自学自習の定着】 ○自律的な学習意欲の芽が育っていることから、普段の家庭学習にも自学自習の割合を増やします。学習理解が不十分と感じたところ、興味関心のあることや発展的内容の調べ学習等、取り組み方を自分で決めます。取組の例を共有するなど支援していきます。</p>	<p>【前期課程の集大成】 ○学年目標は「PositiveHEROES」。素直な心で前向きに考え、困難にぶつかっても諦めずに乗り越えようとする力を育てます。一人一人、みんなが自分の良さを発揮し、お互いに認め合える雰囲気のある学年にします。前期課程修了の時に胸を張れるように、身に付けている力をさらに磨いていく一年にします。</p>

	学力の育成	生活力の育成
前期課程五組	<p>【個に応じた指導】 ○文字や計算等の生活に即した学習に重点を置き「できた」「わかった」「楽しい」という気持ちを大切に、主体的に学習しようとする気持ちを育てます。 ○話の内容を聞き取る力や、相手に伝わるように話すために必要なコミュニケーションスキルを高めます。</p>	<p>【日常生活に必要な力を付ける】 ○「日常生活の指導」では一人一人の発達段階に応じて身近自立を確立します。 ○「生活単元学習」等で、児童の実生活に即した単元計画を立て、季節行事・公共施設の利用方法・栽培・収穫・調理・洗濯・手芸等の幅広い学習に取り組み、将来の自立生活に必要な知識と経験を豊かにします。</p>
七年生	<p>【基礎・基本の徹底】 何事も基礎ができていなければ応用することはできません。基礎学力の育成を図るため、まずは授業を大切にしたいと考えています。先生の問いかけは他人事ではなく自分事として考えること、わからないところはそのままにしないこと、授業内容の復習をすることを意識してください。</p>	<p>【凡事徹底】 整理整頓、チャイム前着席、清掃、当番活動、挨拶、起立の時にイスをしまう、言葉遣いなど日常のやるべきことや当たり前を大切にします。それを積み重ね、継続することが「社会で通用する（愛される）力」の育成につながると考えています。この1年間で当たり前を当たり前前にできる習慣をつけましょう。</p>
八年生	<p>【堅実に、着実に学力向上を図る】 ①学習習慣の確立と工夫 家庭学習の習慣をいっそう定着させるとともに、週や月などの短中期的目標を立てながら、内容の工夫を図り、成果を実感できるようにしていきます。 ②自分に合った学習方法の定着 主に定期考査前の学習で、様々な学習方法を試すことで、自分にとって適切な学習方法を知り定着させていきます。 ☆サマースクールを1つのきっかけに、受験に目を向けていきます！</p>	<p>【最上級ブロックとしての自覚と決意】 ・集団力の向上 → 運動会（集団行動）、文化祭を成功させようとする意欲を高める。 ・マナーとルールの徹底→周りの人のことを考えた、ハピネスな態度を育成していきます。 ・人間力の向上 → 先生も生徒も、失敗を恐れず、新しいことにチャレンジしていきましょう！ ☆伝統を守るということは改革をしていくこと。伝統を見直して、この学年にあった新しい工夫をしていきます！</p>
九年生	<p>【目標に向けて主体的に取り組む】 ○中短期的に目標設定、振り返りの機会を設定することで、目標に向けて、粘り強く、主体的に取り組む姿勢を養います。 ○すべての授業に能動的に参加することで、新たな学びを得ようとする生涯学習の素地をつくります。</p>	<p>【最上級生としての誇りと自覚を】 ○「One for all, all for one. ~応援される学年を目指して~」を学年目標に、自分も周りも大切に作る集団を目指します。 ○最上級学年として、学園全体に目を向けて後輩たちを引っ張り、自分たちの行動により信頼され、憧れられる存在になるようにします。</p>
後期課程五組	<p>【基礎基本の学力の定着と表現力の育成】 ○一人一人の実態を考慮し、漢字や計算などの生活に即した学習に重点を置き、自ら学習しようとする機会を増やします。 ○「聞く」「話す」「文章を書く」「文章を読む」活動を多く取り入れ、自分の気持ちを表現するための基礎を培います。</p>	<p>【将来の社会参加・自立に向けて】 ○社会の一員として生活するために必要な「あいさつや返事」、「整理整頓」、「報告・連絡・相談」する力を養います。 ○生活単元学習（行事の事前・事後学習）や作業学習（清掃作業・事務作業・製作活動）で、人間関係の育成や相互意識の向上を図り、達成感や、自他に感謝する気持ちを養います。</p>

※ 夜間等電話対応委託：5月2日（木）17時から5月7日（火）8時まで休止となります。
上記以外の夜間等（夜18:30-朝8:00）においては、委託先 Tel 03-4330-9385（18:30-8:00、水曜日17:30-8:00）へお願いいたします。教職員の業務負担軽減の取組にご協力ください。

≪ 5月の主な行事予定 ≫

1日(木)	開校記念日(休業日)	19日(月)	午前授業 7
2日(金)	安全指導日 部活動保護者会 腎臓検診 大崎フォレストビル見学 3	20日(火)	眼科 9 委員会 4
7日(水)	全校朝礼 腎臓検診 内科 8	21日(水)	学校公開 品川教育の日
8日(木)	視力 34	22日(木)	学校公開 水道キャラバン 4 引き取り訓練・地域班下校
9日(金)	中間考査 9 自転車教室 3 内科 4	23日(金)	校外学習 3 音楽鑑賞教室 5 眼科 12
12日(月)	常任委員会 5-9	26日(月)	眼科 34
13日(火)	456 活動 中央委員会	27日(火)	校外学習 4 音楽鑑賞教室 8 内科 1
14日(水)	ブロック集会 いちよん活動 耳鼻科 456 磐梯移動教室 7	28日(水)	児童生徒会朝礼
15日(木)	磐梯移動教室 7 歩行者訓練 1 校外学習 2	29日(木)	内科 3
16日(金)	磐梯移動教室 7		

※予定は変更になることがあります。

